

ワールドファッションフェア'98

●心身を開放するテキスタイル

- 自分の欲求を肯定し、解放しようとする想いは、心や身体の快感を追求する動きとなって現れる。自分の肉體誇らかな認識の基に、露出する身体がファッションで表裏される。また、新しさを重視する表現・着こなしの追求もテキスタイルの無視できない視点である。
- 快楽解禁・身体解放・「自分」大好き・「新しさ」の価値等を包括する“語る快感”が開放の動きを受けたキーワードとなる。

●心身を包むテキスタイル

- 他人の視線や様々ながらみの煩雑さから離れて、自分の居心地、快適性を追求する動きが、心身の慰撫を求める。リラックスできる心・心身が最高の贈り物。お気に入りの囲まれる幸せ、ナチュラル感、ヒーリングが目される。
- 固執する自分のリズム・ヒーリングライフ・プリティキャラ・「古」への視線等を包括する“包まれる快適”が逃避の動きを受けたキーワードとなる

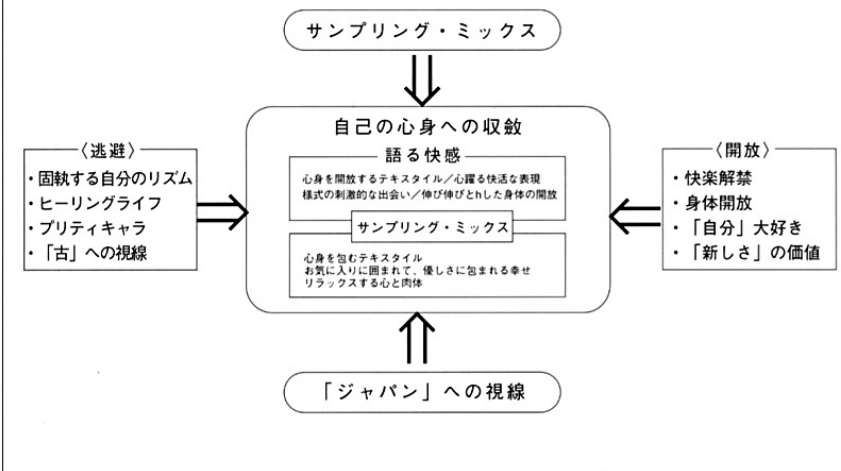
●サンプリング・ミックス/コーディネートからサンプリングへ

…細ブレに始まる、着こなしのルールを越えた組み合わせの広がり。デザイナーの意図を離れ、個々のアイテムを自由ミックスして着こなすサンプリング・ミックス。世界の異なる気候・風土が乱れ出した海外ブランドの良いとこ取り、エスニックという名の文化の表面的な吸収等もサンプリングととらえられる。現代のデジタル感覚がサンプリング・ミックスの浸透を促して行く。コンピュータによるサンプリング・デザインは今後の美意識を左右する。

●ジャパン/ミレニアム（千年期末）における過去の精算

…世紀末で決まり事である未来と過去への注目。現在の混迷する社会・経済の影響を受けて「未来」への視点を欠いてしまった。ただ一つ残る「過去」を見つめる視点から、「ジャパン」は、TVに現れたお宝探偵番組やナチュラル・ヒーリング志向にみる「和」への注目として出現。ヤングの世界では、ミニに草履や下駄を組み合わせるサンプリング・ミックスとしてファッションの新しい表現となった。

〈2000年に求められる“「自分」を支えるテキスタイル”〉



WFTF'98に参加して

昨年に続き「自分」を支えるテキスタイルをコンセプトに、“2000年に求められるテキスタイルとは”を考えていこうと、また“今までに求められたテキスタイルとは”を振り返って・・・

今までのあらゆる常識とされていたファッションにおける殻を破り自分らしさを追求しようとする若者のファッション表現が、サンプリング・ミックス（例えば、ミニ丈に草履）のように、既製概念に囚われないファッションをすることで解放を感じ、また、キティのように消えないけれど周期的に脚光を浴びるプリティキャラクターが好まれるのは、その中に安易に住むことができ、やすらぎを感じるからで、一種の逃避につながるかと思えます。いま、テキスタイルではショップファクトリーとクラフトファッションが浸透しつつあり、これら各々の2つの流れをとらえて考えて行こうと言う事で30×30(cm)のパネルに表現することになり、参加する一人一人が新しいテキスタイルとは何かと、思い思いの材料、(例えば、スパゲッティ、ひや麦、たまご、煙草のフィルター、ハーブ、ウール、麻、木の葉、豆、発砲スチロール、ネット、etc....)を使って平面、反立体、立体と、それぞれのアイデアでこれ程異なった面白い表現方法があったのかと思う位バラエティ溢れた物になったのには驚かされました。また、これをどのようにテキスタイルに生かして行くのかという流れでコンピューターを使用し、パターン全体、部分を利用して縮小、拡大、重ね合わせて色彩を変化させることで全く予想外のテキスタイルへと作り上げる事が出来、それは一部マップとしても展示され、今後のパネル作品展示を期する大変興味深いものがありました。これらの企画からパネル作品製作までのあいだで益々物作りの大変さと素晴らしさを実感いたしました。そして、ブースに来られたお客様がたも何かと興味を持たれ(海外の方も含めて)いろいろ質問され、中には使われた材料を見つけることが出来て満足げな方もいらっしゃいました。では、来年も残り少ない20世紀と、きたるべき21世紀に向かって！！

(はましま えつこ・宮武 京子)

